



# FIELD-TERRACE

## 新機能

更新日 2020/07/22 (バージョン 1.0.1050)

**FIELD-TERRACE (2020/07/22) の  
新機能をご紹介します。**

## 1 接続設定 TS P.1

- 1-1 Nikon-Trimble社の「Nivoシリーズ」に対応 \_\_\_\_\_ 1

## 2 測設 P.2

- 2-1 目標点までの角度/距離の表示に対応 (マニュアル機) \_\_\_\_\_ 2
- 2-2 偏角機能に対応 (モータードライブ機) \_\_\_\_\_ 2
- 2-3 [測設] - [路線 (測点)] コマンドを新規追加 \_\_\_\_\_ 3

## 3 観測 P.4

- 3-1 [観測] - [路線] コマンドで、ミラー位置を中心線形に  
投影した位置の測点名表示に対応 \_\_\_\_\_ 4
- 3-2 [観測] - [路線] コマンドで、開始点からの「距離」の精度を  
向上 (「オフセットなし」のときのみ) \_\_\_\_\_ 4

## 4 データ管理 P.5

- 4-1 汎用クラウドストレージからのデータ取込に対応 \_\_\_\_\_ 5

# 1 接続設定 TS

## 1 - 1 Nikon-Trimble 社の「Nivo シリーズ」に対応

Nikon-Trimble社の「Nivoシリーズ」との接続に対応しました。

The screenshot shows a mobile application interface for connection settings. At the top, there are two buttons: '戻る' (Back) and '接続' (Connect). Below these are four dropdown menus, each with a label in green text: 'メーカー' (Manufacturer) set to 'Nikon-Trimble', '機種名' (Model Name) set to 'Nivo シリーズ', '通信方法' (Communication Method) set to 'Bluetooth', and '方法' (Method) set to '手動' (Manual). These four dropdown menus are enclosed in a red rectangular box. Below the dropdowns is a section labeled '履歴' (History) in green text, which is currently empty. At the bottom of the screen are two buttons: '切断' (Disconnect) in grey and '接続' (Connect) in green.

# 2 測設

## 2-1 目標点までの角度/距離の表示に対応（マニュアル機）

器械が「手動」の場合は、目標点までの「水平角」と「水平距離」を確認できるようになりました。



## 2-2 偏角機能に対応（モータードライブ機）

器械が「自動追尾」または「自動視準」の場合は、目標点に器械を偏角できるようになりました。



## 2-3

## 【測設】 - 【路線（測点）】 コマンドを新規追加

【測設】 - 【路線（測点）】 コマンドを新規追加しました。

路線の任意の測点からの「単距離」と「幅（オフセット）」を指定し、誘導と杭打ちをおこないます。

- 1 ホーム画面の【測設】をタップします。
- 2 【路線（測点）】をタップします。
- 3 【測点】をタップします。
- 4 【測点】【単距離】【オフセット】を入力して、測設位置を指定します。
- 5 誘導と杭打ちをおこないます。



### 「横断」が未入力の場合

EX-TREND武蔵の「3次元設計データ作成」で作成した路線で、「横断」が未入力の路線の場合は、【オフセット】を「あり」にすると【拡幅片勾配】が表示されます。

この時【拡幅片勾配】を「あり」にすると、オフセットの【量】と【勾配】の表示が、【幅員】と【勾配】の表示に切り替わります。

【幅員】には、路線に設定されている「標準幅員」の値が設定されます。

【勾配】には、路線に設定されている「標準片勾配」の値が設定されます。

また【拡幅片勾配】を「あり」にした場合は、各測点に設定されている拡幅量、前後の測点、カーブのタイプなどを考慮して左右の位置が計算されます。

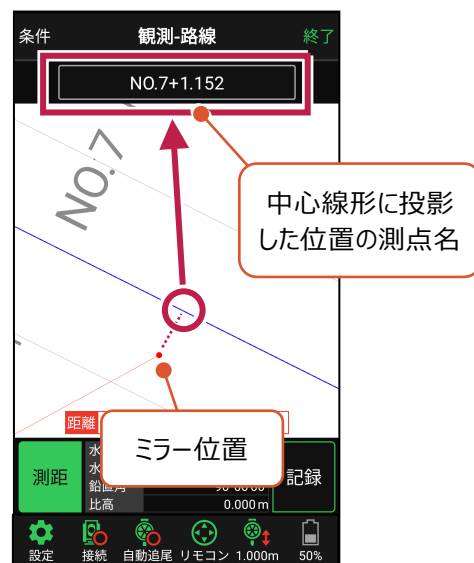


# 3 観測

## 3-1 「観測」 - 「路線」 コマンドで、ミラー位置を中心線形に投影した位置の測点名表示に対応

「観測」 - 「路線」 コマンドで、ミラー位置を中心線形に投影した位置（垂線の足の位置）の測点名を表示するようにしました。

※オフセット線を設定した場合も、中心線形に投影した測点名になります。



## 3-2 「観測」 - 「路線」 コマンドで、開始点からの「距離」の精度を向上（「オフセットなし」のときのみ）

「観測」 - 「路線」 コマンドで、画面表示される開始点からの「距離」の精度を向上しました。（「オフセットなし」のときのみ）



# 4 データ管理

## 4-1 汎用クラウドストレージからのデータ取込に対応

汎用のクラウドストレージから、現場データ・座標データ・CADデータ・路線データを取り込むことができるようになりました。

### 対応コマンド

〔現場一覧〕 - 〔取込〕

〔データ管理〕 - 〔座標データ〕 - 〔取込〕

〔データ管理〕 - 〔データ取込〕

〔図面表示〕 - 〔取込〕

### 操作例) 〔データ管理〕 - 〔データ取込〕で座標データの取り込み

① ホーム画面の〔データ管理〕をタップします。

② 〔データ取込〕をタップします。

③ 〔座標データ〕を選択して、〔次へ〕をタップします。

④ 〔アプリ連携 (クラウド)〕を選択して、〔次へ〕をタップします。



この後に表示される画面で、使用するクラウドストレージの選択や、受け渡しするファイルの選択をおこなってください。

※動作確認済みクラウドストレージ (2020/07/22現在)

Dropbox、OneDrive、Google Drive